

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	物理療法理論	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（柔道整復理論編 一般社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	後藤 晃弘	実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的					
物理療法の定義は、物理的エネルギーを利用して、生体の神経生理学的反応や化学的反応を引き起こすことにより、損傷部の治癒促進や疼痛抑制及び神経筋機能の賦活を促す治療法とされ、徒手的には与えられない物理的エネルギーによる刺激、生体に与えることができることが最大の特徴である。柔道整復師の業務である後療法の中の物理療法の生体への反応を理解し、患者さんへの実施の仕方を習得することができる。また、禁忌など危険性を理解できるようになることがねらいである。					
到達目標					
物理療法の理解や探求する力を身につけるために、各物理療法の用いた際の生体への反応の法則を理解する。寒冷療法、光線療法、牽引療法、間欠的圧迫法など各種物理療法の毛細血管や浸透圧、神経系、筋肉に対しての生理学的作用を理解する。各種物理療法の実施した際の効果並びに、どういう疾患に対して効果があるのか、また一般的な禁忌や各種物理療法だけの禁忌（特異的禁忌）について理解することを到達目標とする。					
授業概要					
授業概要	この物理療法とは柔道整復師の行う後療法の中に含まれ、物理療法の生体への反応や効果を理解し、患者さんへ実践できる学問である。物理療法についての基礎知識から応用知識までを学び、基本的な患部への実践と応用的な実践といった技術を習得する。				
注意点					
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	物理療法の目的・分類	物理療法の分類（電気療法や温熱療法など）や周波数と波長を理解する。			
2回	力源を用いた治療法(1)	間欠的圧迫法にあたり全身的浮腫や局所的浮腫を理解する。			
3回	力源を用いた治療法(2)	間欠的圧迫法の生理学的作用を理解する。			
4回	力源を用いた治療法(3)	間欠的圧迫法の効果を理解し、使用方法や包帯を使ったやり方を習得する。			
5回	寒冷療法(1)	寒冷療法の原理、生理学的作用を理解する。			
6回	寒冷療法(2)	寒冷療法の適応と禁忌、効果を理解する。			
7回	寒冷療法(3)	寒冷療法（アイスバック・クリッカー）を使用法を習得する。			
8回	振り返り(1)	1回～7回までの振り返り			
9回	牽引療法	頸椎牽引、腰椎牽引の生理学的作用、使用方法を理解する。			
10回	光線療法(1)	光線療法の生理学的作用を理解する。			
11回	光線療法(2)	赤外線療法の生理学的作用、使用方法を理解する。			
12回	光線療法(3)	レーザー光線療法の生理学的作用、使用方法、光線療法の禁忌を理解する。			
13回	電気療法(1)	電気療法の皮膚の電気抵抗を理解し、皮膚の電気抵抗を下げるための手段を習得する。			
14回	電気療法(2)	電気療法の種類（TENS・EMS）などを理解する。			
15回	振り返り(2)	9回～14回までの振り返り			